

安曇野市穂高交流学習センター運営委員会 会議概要

1	協議会名	平成21年度第1回安曇野市穂高交流学習センター運営委員会
2	日時	平成21年9月2日 午後1時30分から午後3時30分まで
3	会場	安曇野市穂高交流学習センター“みらい”地域学習室
4	出席者	中島委員長、本山副委員長、内山委員、江草委員、勝野委員、野中委員、丸山委員、宮田委員、山崎委員
5	市側出席者	望月教育長、北條文化課長、上條文化振興係長、高山図書館係長、財津文化振興係主査、江崎
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 2人
8	会議概要作成年月日	平成21年9月29日

協議事項等

1	会議の概要	<p>(1) 開 会 (北條課長)</p> <p>(2) 委員の委嘱 望月教育長より委嘱書交付。</p> <p>(3) 教育長挨拶</p> <p>(4) 委員紹介</p> <p>(5) 役員選出(正副委員長) 委員長は中島博昭氏に、副委員長は本山正氏に決定。</p> <p>(6) 協議事項</p> <p>(7) 閉 会 (北條課長)</p>
2	協議概要	<p>(1) 安曇野市穂高交流学習センターの概要について 事務局より管理及び事業運営計画・条例・管理規則・運営委員会設置要綱を説明。 委員長・設置まで長い間検討されて出来上がった「みらい」だが、ここは何が出来る施設となるのか、又、運営委員会としては何をすればいいのか明確にしなければいけないと思うが、事務局からの説明を聞いて、何か質問・意見等があれば出して頂きたい。</p> <p>委員・・委員会は、年何回程開く予定か。 事務局・年5回程予定している。</p> <p>委員・・運営していく上では、予算が重要になってくると思うがどうか。 事務局・21年度の実施計画の中で立てた事業費は、おおむね600万から700万円。限られた予算の中で、よりよい事業を行っていきたいと考えている。次回の運営委員会は、予算提出の時期も鑑み10月を予定している。是非、運営委員の方々のご意見を伺いたいと思う。</p> <p>委員・・「みらい」が出来るまでに検討された議事録を読んだが、その中でも安曇野市の中央図書館として、何を発信しようと考えているのか、事務局としての考えを教えてください。例えば、今回の人物展で取り上げた人物は、どういう基準で選んだのか、教えてください。</p> <p>事務局・「安曇野200年100人の肖像」は、開館記念として、江戸から平成にかけて安曇野市で多大な業績を残された100人の方々を、一期46人、二期54人に分けてお一人ずつパネルでご紹介している。これは、小・中・高校生が安曇野の歴史を学んでいく上での貴重な機会となるだろう。22年度以降は「安曇野学講座」といった講座を開催していければと計画している。また、中央図書館の開館を記念して「安曇野エッセイ賞」を企画した。ブランド推進室ともタイアップした事業で、全国からエッセイを募集することで安曇野の魅力をPRし、安曇野のイメージを中央図書館から発信していきたい。</p>

委員長・人物展のことを、もう少し詳しく説明して欲しい。

事務局・今回の「安曇野200年100人の肖像」展は、中島博昭先生に監修をして頂いた。100人の選定については、まず南安曇郡誌・東筑摩郡誌を参考にして安曇野市域に関わる方をピックアップし、それに加えて旧5町村誌に出ている方を全て拾い出した。そのリストを今年の6月に市ホームページを通じて公開し、市民の方からリスト以外にも紹介するべきと思われる方についてなど情報を募ったところ、多数のご連絡があり、この方々もそれぞれ検討してリストに加えた。展覧会自体は100人に絞ってご紹介したが、資料が揃った段階で市のホームページにもアップし、展示できなかつた160人位についてもそのデータベースには加えて今年中には公開したいと考えている。

委員・・展覧会には何故100人しか展示されないのか。拾ヶ堰の設計者が入っていないのはどうしてか。

委員長・今回は肖像展なので、肖像のない人物は取り上げることが出来なかつた。その為100人に絞っている。安曇野市で業績を残した260~270人もの莫大な数の人物一人々を調べるということは大変なことだったと思う。今回まとめたことが安曇野市の特色を知る手始めとなったと思う。「安曇野人物物語」・「安曇野永遠の記憶」というパネルで時代の流れも追っている。拾ヶ堰の開削のことも、「安曇野人物物語」の中で取り上げている。私も今回の展示に関わるまで今まで全く知らなかつたことがわかってきた。この展示の先にどんなことを広げていけばいいのか。これは、どの企画に対しても言えることだが運営委員は会議で話し合うだけではなく

「みらい」で行われる企画を実際に目で見て事務局と共に考えていかななくてはならないと思う。

委員・・開館に際してのちらしは、どのように配られたか。

事務局・ポスター200部とちらし5000枚を刷り、市内の公共施設等150箇所程に配布した。経費を抑える為、市民の皆さんへの周知は「広報あづみの」で特集ページを組んで行った。

委員・・私は委員でありながらこの「みらい」の場所がわからなかつた。多分多くの安曇野市民が知らないのが現状だと思う。多少お金がかかっても公共施設に配布するよりは、小・中学生の各家庭に配布した方がこれからの為になるのではないか。

事務局・施設を知って頂く為に開館前に行った取り組みとして、6月27日・28日と8月29日・30日に見学会を開催した。これは保育園・幼稚園・小・中学校の園長先生、校長先生を通して働きかけをしている。また、開館記念イベントの東京藝大室内楽コンサートには、市内各中学校の吹奏楽部の希望する学生とその保護者を特別に招待することも考えている。今回の展示についても難しい漢字にはルビをふるなど、より多くの子供さんや保護者の方にも足を運んで頂ける取り組みも同時に進めている。

事務局・図書館としては、安曇野市内の全小・中学生に対して、新しい図書カードを作って貰うよう「図書貸出願」を配布した。また、開館前に市内の高校並びに穂高地域の中学校に団体でのボランティアをお願いしてお手伝い頂いた。

委員・・全戸に配布されている広報を計画的に使って、どんなことでも知らせた方がいいと思う。広報を大事に活用して欲しい。若い人が自分から参加し体験する企画を考えていくことが大切だと思う。

委員・・100人の肖像展については、広報に掲載していないのか。

事務局・9月2日発行の「広報あづみのお知らせ版」に、展示のことを載せている。展示については、開館に合わせて少し遅らせたという経緯もある。

委員・・広報は、とてもよくできた紙面だと思うので、お金をかけるやり方でなく今後も出すタイミングも上手に考えて活用して欲しい。

委員・・今回のお知らせ版には、ただ展示する100人の名前が書かれているだけなのが残念だ。一言でもいいから、どういう業績を残した人物か加えて欲しかった。

委員・・子供が本に接する機会や図書館の利用率を増やす為には、働いていて忙しい親に

任せるのでは難しいと思う。例えば「あづみん」で学校から図書館に行かれるというような、子供の意志で利用できる今までにない活用の仕方を考えたかどうか。

委員・・6月の見学会の様子を教えて欲しい。

事務局・6月27・28日の見学会では芝生の芝張りも含めて行ったが、2日間で4~500人の方に来て頂いた。

委員・・この「みらい」は、多年代の人達が楽しんで貰える施設であって欲しい。今日、自転車で来て思ったが、自転車置き場の場所が分からなかった。自転車置き場はあの場所でいいのか、もう少しスペースがあった方がいいのではないか。

委員長・この「みらい」は、安曇野市の文化施設として単なる貸館でない情報発信の拠点とならなければいけないと思う。

(2) 本年度の事業計画について

平成21年度穂高交流学習センタースケジュールを説明

委員・・「おはなしワールド」の参加団体は、どの位あるか。

事務局・今、参加団体を募っている所なので、まだ数は分からない。

委員・・「おはなしワールド」は、地味な活動だがすばらしい。だが知らない人が多いと思う。是非広めて欲しい。

委員・・新しい施設は、最初だけ催し物を多く行ない段々使われなくなるケースが多いと思う。いろいろな階層から長く愛される為に、スケジュールを過密に組むのではなくゆっくり進めて欲しい。その為にも、多目的ホールに何かいい愛称をつけたらどうか。それと、自主企画事業については、要所をまとめて記録として残して欲しい。

委員長・私達委員は、できるだけ自主企画事業を見てその企画の評価をして、より良い事業にしていかなければならないと思う。

委員・・上映される映画は無料ということだが、かなり昔の古いものを上映するのはなぜか。

事務局・話題作の上映権の金額はかなり高くなってしまっているので、古いものになってしまった。

委員・・図書館ではDVD等の貸出しもするのか。

事務局・CD・DVD合わせて5000点程用意していて、貸出しをする。

委員・・有料のコンサートは、組織がないとチケットをさばくことはできないと思う。その辺は、どう考えているのか。

事務局・先程本年度の事業計画の説明をした際にお話した、11月に行なう上松美香さんのコンサートは有料にしたいと考えている。来年度も有料コンサートを企画したいと考えているので、運営委員の皆さんからチケットの販売方法等については是非ご意見を頂戴したい。

委員・・有料のチケットはなかなか売れないと思う。市民から希望者を募ってチケット販売をする組織を作って、率先して販売していかないと売れないのではないか。

(3) 来年度事業について

事務局・10月末から11月にかけてが来年度の予算作成の時期となる為、まだ今年度の事業を評価した上で来年度も継続した方がいいかといった判断をするのは難しいと思うが、来年度この穂高交流センター「みらい」でこの様な事業を行なったらどうかという具体的なご意見又はご助言を頂戴したい。

委員長・今日が初めての委員会ということで、急と言っても無理だと思う。次回委員会で具体的な話しが出来るように、それぞれの委員が考えて来たらどうかということで、閉会にしたい。